

2020年12月14日

三井不動産株式会社

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン

グローバルな連携の促進を目的とした、東京・日本橋 10 か所目のライフサイエンス拠点 日本橋室町三井タワーに「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」開設

国内外のアカデミアや VC(ベンチャーキャピタル)を集積し
ライフサイエンスの新たな知やイノベーションの創出へ

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信、以下三井不動産)は、一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(本社:東京都中央区、理事長 岡野栄之、以下LINK-J)とともに、ライフサイエンス分野において新産業を創造するためのエコシステム構築に取り組んでいます。この度、取り組みの一環として、国内だけでなくグローバルなライフサイエンスプレイヤーを集積する新拠点「GLOBAL LIFESCIENCE HUB(グローバルライフサイエンスハブ)」を、日本橋室町三井タワー7階に開設いたしました。本拠点は三井不動産のライフサイエンス拠点としては、東京・日本橋で10か所目となります。

■本リリースの概要

- ① グローバルな連携の促進を目的とした、東京・日本橋エリア10か所目となるライフサイエンス拠点「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」を日本橋室町三井タワー7階に開設
英語対応可能な受付などグローバルなニーズに応えるファシリティを整備
- ② ライフサイエンス・イノベーション促進に特に注力する国内外のアカデミアを集積
アカデミアは国内では東北大学東北メディカル・メガバンク機構、東北大学オープンイノベーション戦略機構および東北大学ナレッジキャスト株式会社、海外では米国のカリフォルニア大学サンディエゴ校(UC San Diego)の利用が決定
- ③ アカデミアのシーズとVCの資金を結びつける場として機能
VCはすでに国内外合わせて3社(国内VCはMedVenture Partners株式会社、株式会社ヘルスケア・イノベーション、海外VCはNewton Biocapital社)が入居。今後も誘致を進め、グローバルな連携を促進

三井不動産とLINK-Jは、東京・日本橋を中心に、LINK-Jによる「コミュニティの構築」、三井不動産による「場の整備」と「資金の提供」を通じて、ライフサイエンス領域における様々なプレイヤーを繋ぎ、イノベーション創出を促進してまいりました。これまでも、「場の整備」の一環として、東京・日本橋エリアに9か所、大阪・道修町近傍エリアに1か所のライフサイエンス拠点を整備しています。さらに、「コミュニティの構築」の一環としては、提携に関する覚書も締結しているカリフォルニア大学サンディエゴ校(UC San Diego)やカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)、Oxford University Innovationなどの著名な研究者やVCをはじめとするライフサイエンスプレイヤーを招いたイベント等の開催や、国内外のアカデミアやライフサイエンス団体との連携などの取り組みを行っています。今後は海外との連携をさらに強化するほか、アカデミアやVCをはじめとするライフサイエンスプレイヤーのグローバルな交流・連携の促進にさらに注力していきます。

三井不動産とLINK-Jは、ライフサイエンス領域でのグローバルな連携を促進することで、エコシステムの構築を強化し、さらなるライフサイエンス領域でのイノベーション創出に貢献してまいります。



日本橋室町三井タワー外観



施設内観・コミュニケーションラウンジ

①

グローバルな連携の促進を目的とした、東京・日本橋エリア 10 か所目となるライフサイエンス拠点

三井不動産は、「残しながら、蘇らせながら、創っていく」を開発コンセプトとして、官民地域一体となった「日本橋再生計画」を推進してまいりました。2019 年からの「日本橋再生計画第 3 ステージ」では、「共感・共創・共発」の考え方のもと、「豊かな水辺の再生」「新たな産業の創造」「世界とつながる国際イベントの開催」の 3 つの重点構想を推進し、日本橋再生計画のビジョンを実現するための街づくりを推進しています。「新たな産業の創造」の取り組みとして、特に注力してきたのがライフサイエンス領域です。江戸時代から薬種問屋が立ち並んでいた街でもある東京・日本橋を拠点に、幅広いプレイヤーが集えるよう、LINK-J と連携して場と機会を創出し、オープンイノベーションの促進を図っています。

この活動の一環として、三井不動産はこれまで、東京・日本橋エリアに 9 か所、大阪・道修町近傍エリアに 1 か所のライフサイエンス拠点を整備してまいりました。今回日本橋室町三井タワー7 階に開設された「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」は、東京・日本橋エリア 10 か所目の拠点となります。グローバルな連携の促進を目的としており、英語対応可能な受付を設置するなど、グローバルなニーズに応えるファシリティも整備しています。



東京・日本橋の 10 拠点



大阪・道修町近傍の 1 拠点

②

ライフサイエンス・イノベーション促進に特に注力する国内外のアカデミアを集積

GLOBAL LIFESCIENCE HUB は、ライフサイエンスプレイヤーの中でも特に国内外のアカデミアや VC を集積する場となります。

国内アカデミアは東北大学東北メディカル・メガバンク機構、東北大学オープンイノベーション戦略機構、東北大学ナレッジキャスト株式会社の利用が決定しています。いずれの機関も社会的にインパクトの大きいイノベーションの創出を目指しており、日本橋を、産業界をはじめとしたさまざまなプレイヤーの参画を促進するための戦略拠点と位置付けています。

また、本拠点では、海外のアカデミア向けに、海外からの出張時にオフィス代わりに利用できる「オープンシート」という機能を整備しています。海外アカデミアは米国のカリフォルニア大学サンディエゴ校 (UC San Diego) の利用が決定しております。今後もこのようなライフサイエンス・イノベーション促進に注力するアカデミアを誘致していきます。

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

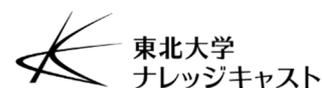
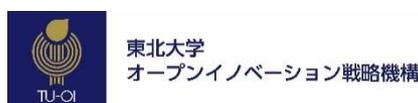
未来型医療を築いて震災復興に取り組むために設置され、東日本大震災の被災地の地域医療再建と健康支援に取り組みながら、医療情報とゲノム情報を複合させたバイオバンクを構築して、バイオバンクの情報とその解析結果に基づく新しい医療の創出を通じ、産学連携の促進、関連分野の雇用創出、医療復興に取り組んでいます。

東北大学オープンイノベーション戦略機構

企業の学内活動拠点となる“共創の場(MASAMUNE-TOI(仮称))”の形成を推進し、東北大学独自の B-U-B (Business-University-Business) 連携モデル(大学をプラットフォームとして複数企業が参画するイノベーションエコシステム形成型連携モデル)に基づくオープンイノベーションを展開しています。

東北大学ナレッジキャスト株式会社

独創的な研究成果をはじめとする東北大学のさまざまな”知”と、環境変化に適応すべくイノベーションに挑み続ける産業界の革新力との融合によって、新たな社会価値の創造に貢献することを目指しています。



UC San Diego

③ アカデミアのシーズと VC の資金を結びつける場として機能

VC はすでに国内外合わせて 3 社が入居しています。

国内 VC は日本のアイデア・技術から世界に通じる革新的な医療機器を生み出す活動を精力的に行っている MedVenture Partners 株式会社、次世代ヘルスケア産業の担い手となる「未来を切り拓くヘルスケア関連ベンチャー企業」を見出し、投資・育成することを目指す株式会社ヘルスケア・イノベーションなど、フラッグシップとなるライフサイエンス系の VC を誘致しており、今後も著名な VC の誘致を進めます。

海外 VC は、ベルギーで設立され、ヨーロッパ大陸の主要国と日本において慢性疾患の予防と治療に関わるバイオテクノロジーやライフサイエンスのプロジェクトに焦点を当てた投資を行う Newton Biocapital 社が入居しており、海外からの資金の流入及び海外のバイオテックの日本展開を促すべく、今後も入居企業を増やしていく予定です。

アカデミア・VC とともに国内外からのさらなる誘致を進め、アカデミアのシーズと VC の資金の結びつけを促進します。



「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」詳細

GLOBAL LIFESCIENCE HUB には、組織内外、ひいては国内外の交流を促進する設備が設置され、ライフサイエンスを軸とした新たな知の創出やイノベーションにつなげる場として機能します。LINK-J によるイベント・プログラムを通して、上記の国内外アカデミアや VC との交流機会も設けます。LINK-J 会員の入居企業は他のライフサイエンス拠点も使用でき、LINK-J が提供する各種イベント・プログラムへの参加が可能です。

■コミュニケーションラウンジ

- 入居者と LINK-J 会員が、研究分野や所属を超えて自由な議論を交わすことのできる交流の場として機能
- 短時間の打合せや作業の他、入居者は貸切での懇親会やパーティーなどにも利用可能
- カンファレンスルーム同様、東京・大阪間の双方向同時中継可能



■カンファレンスルーム

- 東京・大阪間の双方向同時中継やオンラインとリアルなハイブリッド型イベントも実施することができ、情報発信の場として機能
- 成果発表をはじめとする多種多様なビジネスシーンに利用可能
- 最大収容人数 70 名(シアター形式で最大 110 名)で、入居者は優先的に予約が可能



■ミーティングルーム

- 入居者のみが利用でき、8 名用から 12 名用の 5 つの部屋を用意
- テレビ会議システムを導入した部屋もあり、離れた拠点との打合せも実施することができる
- テレフォンカンファレンス等にご利用いただける 1 名部屋も今後整備予定



その他、オフィス家具や Wi-Fi などのビジネスに必要な備品がプリセットされ、グループの規模に応じて選択できる「パーソナルブース」や、1 デスクから使うことができ、様々なシーンで柔軟に利用できる「オープンデスク」、国内外のアカデミアの方による最先端の知識や知見が行き交う場となる「オープンシート」など、様々なシーンで活用できる設備を用意しています。



パーソナルブース



オープンデスク



オープンシート

平面図



- ・ 所在地: 東京都中央区日本橋室町三丁目 2 番 1 号
日本橋室町三井タワー7 階
- ・ 延床面積: 1461.67 m² (442.15 坪)
- ・ 使用開始: 2020 年 12 月 14 日
- ・ アクセス:
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅直結
JR 横須賀線・総武快速線「新日本橋」駅直結
JR 中央線・山手線・京浜東北線「神田」駅 徒歩 9 分
JR 各線「東京」駅 徒歩 9 分



<添付資料>

■一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)について

LINK-Jは、三井不動産株式会社と産学の有志が中心となって設立した一般社団法人です。医薬関連企業が集積する日本橋エリアを拠点に、産官学連携によるライフサイエンス領域でのオープンイノベーションを促進し、新産業創造を支援することを目的としています。医学をはじめ、理学や工学、ICTや人工知能といった新たなテクノロジーなど、あらゆる科学の複合領域であるライフサイエンス領域において、分野を超えた内外の人的交流・技術交流・事業交流等を促進していきます。

<https://www.link-j.org/>

■日本橋における産業創造の取り組みについて

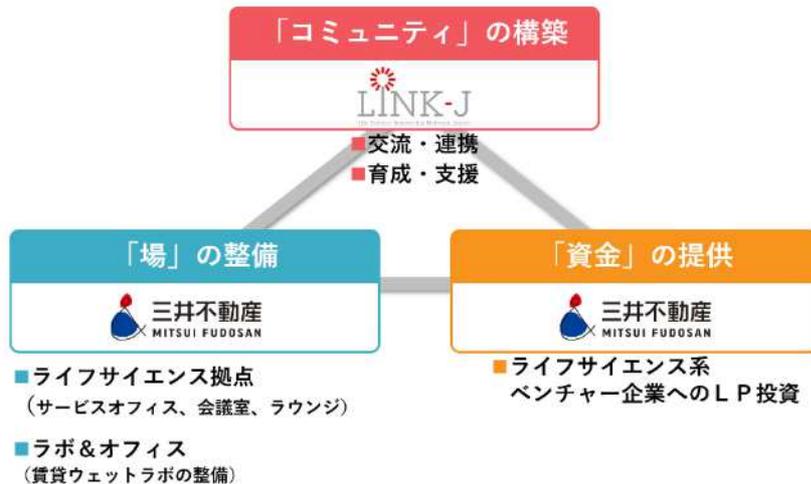
三井不動産は、2004年の「COREDO 日本橋」の開業を皮切りに、「残しながら、蘇らせながら、創っていく」を開発コンセプトとして、官民地域一体となった「日本橋再生計画」を推進し、ミクストユースの再開発で都市機能の多様化と賑わいづくりを進めてまいりました。2019年、「日本橋室町三井タワー」の竣工を経て発表した「日本橋再生計画第3ステージ」では、「共感・共創・共発」の考え方のもと、「豊かな水辺の再生」「新たな産業の創造」「世界とつながる国際イベントの開催」の3つの重点構想を推進し、日本橋再生計画のビジョンを実現するための街づくりを推進しています。

中でも「新たな産業の創造」においては、互いを助け合う「共生」の心が古くから息づいている街・日本橋を舞台に、今後も様々なプレイヤーを誘致し、オープンイノベーションを活性化させてまいります。

古くから薬種問屋として栄えてきた日本橋の地場産業である「ライフサイエンス」に加え、「X-NIHONBASHI(クロス・ニホンバシ)」プロジェクトとして本格始動した「宇宙」分野などにおいて、共創を導く為ハードとソフトの両面から産業の成長をサポートします。

■三井不動産のライフサイエンス・イノベーション推進事業

三井不動産は、事業領域拡大のための新産業創造を重要な戦略と位置づけています。ライフサイエンス領域では、ベンチャー企業や大学、シーズ、病院、大手製薬会社などのキープレーヤーが、コラボレーションを通じてお互いの知識・技術・資本を活かしながら、業界の枠を超えて研究開発を発展させていくというエコシステムを、「コミュニティの構築」、「場の整備」、「資金の提供」を通じて構築することで、ライフサイエンス領域におけるイノベーション創出を支援します。



● 「コミュニティ」の構築

LINK-J は、ライフサイエンス領域での「オープンイノベーションの促進」と「エコシステムの構築」を目的とし、それを実現するために、「交流・連携」および「育成・支援」事業を行っています。2020年12月時点の会員数は471名、2019年に開催した交流・連携イベントは518件となりました。

● 「場」の整備

三井不動産はイノベーションによる新産業の創造・育成につながるエコシステムを構築する空間(ハード)を整備します。賃貸ラボ&オフィスに加え、東京・日本橋エリアと大阪・道修町近傍エリアにライフサイエンスビルシリーズを11か所展開しており、GLOBAL LIFESCIENCE HUBは東京・日本橋エリアにおける10拠点目となります。拠点整備以降、東京・日本橋エリアには新たに129テナントが集積しています。

● 「資金」の提供

三井不動産はLP投資を通じて、大学・研究機関における高度な技術シーズをより多く実用化させ、ライフサイエンス系ベンチャー企業を支援することにより、新産業創造を更に加速してまいります。

■三井不動産グループのSDGsへの貢献について

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における4つの目標に貢献しています。

目標 3 すべての人に健康と福祉を
目標 8 働きがいも経済成長も
目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**